令和８年（第71回）秋田県文化功労者

（年齢順、敬称略）

学芸・産業	（スポーツ・産業の振興）	澤部　肇
技芸	（民謡の普及・指導）	王藤正蔵
民生・社会福祉	（地域福祉の向上）	赤川和子
美術・工芸	（木工芸の普及・振興）	佐藤咲夫
産業	（地域産業の普及と発展）	大曲の花火協同組合



スポーツ・産業の振興

澤部　肇（さわべ　はじめ）

（84歳）

住　所　　千葉県我孫子市

昭和39年に東京電気化学工業(株)(現ＴＤＫ(株))に入社後、代表取締役社長から会長へ、そして相談役として55年間という半世紀以上にわたり、電子部品製造業の第一線を走り続け、売上高１兆円を超えるエレクトロニクス企業へと成長させた。

代表取締役会長となった直後に開催された第77回都市対抗野球大会において、ＴＤＫ硬式野球部が初優勝を飾り、全国制覇という偉業は、秋田県のスポーツ振興に新しい可能性を拓いた。

産業やスポーツの振興、ＴＤＫ歴史館開館による歴史･文化の承継など多方面において躍動し、地域振興に貢献してきた他、「ゆり海岸林再生プロジェクト」に多額の資金援助をするなど、本県の海岸線の環境保全においても尽力している。



民謡の普及・指導

おう　とう　しょう　ぞう
王　藤　正　蔵

（本名　篠木（しのぎ）　正蔵（しょうぞう））

（78歳）

住　所　　羽後町

高校在学時に民謡を始めたのをきっかけに、61年間にわたり秋田民謡の普及と発展に尽力してきた。

昭和57年には「秋田県民謡王座」初代チャンピオンに輝き、同年には「第22回日本郷土民謡民舞全国大会グランプリ大賞」で優勝を果たすなど、数々の主要な民謡大会で優勝している。

平成８年から「王藤会」として県内で定期的に民謡教室を開催している。また、平成８年から平成23年までは埼玉県および大阪府においても秋田民謡教室を定期的に開催し、県外への秋田民謡の普及に努めた。

秋田民謡の正統な後継者として県内外に広く認知されており、その功績は秋田民謡および秋田県文化の向上発展に極めて大きいと評価されている。



地域福祉の向上

あか　がわ　かず　こ
赤　川　和　子

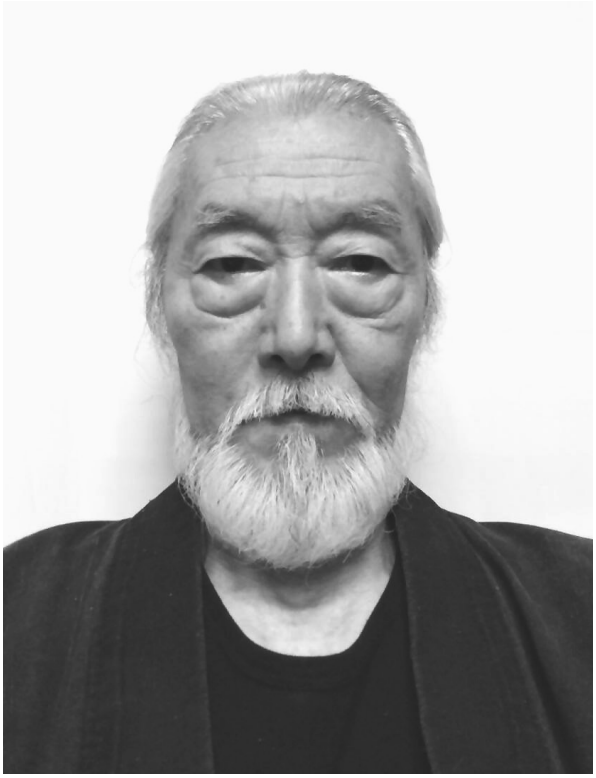
（77歳）

住　所　　仙北市

角館町、仙北市職員の頃から、福祉関係の相談や支援の業務に携わっていたが、退職後、人のつながりや支え合いの大切さを痛感し、長年にわたり、人道的な赤十字の活動に尽力してきた。

福祉施設や総合病院、小学校でのボランティア活動や、地域交流サロンの立ち上げ、防災セミナーや各種赤十字講習の開催、献血・募金の呼びかけなど、地域に根ざした様々な赤十字活動を推進してきた。

長年にわたる地域福祉活動及び赤十字奉仕活動に尽力した功績は高く評価され、地域住民や関係団体から厚い信頼を得ている。



木工芸の普及・振興

佐藤咲夫（さとうさきお）

（76歳）

住　所　　由利本荘市

昭和43年に「小高建具製作所」に弟子入りし、28年間にわたり木製建具製作に従事してきた。この間、全国建具展示会で５度の内閣総理大臣賞を受賞した作品の製作を担当した。

伝統技術へのこだわりと手仕事による創作のため、平成８年に工房「咲」を独立開業し、以来30年間、指物職人として独創性の高い製品を製作し続けている。

木の材質や特性を熟知し、素材を生かす技能に卓越しており、特に、約1.5mmの木素材を精緻に組み合わせて格調高いデザインを生み出す「組子細工」や、「木象嵌」「寄木細工」「挽き曲げ」などの伝統技術を融合させた製品を数多く生み出している。また、出前教室等を行うなど、次世代への木工芸の技能継承及び魅力の発信に貢献している。



地域産業の普及と発展

大曲の花火協同組合（おおまがりはなびきょうどうくみあい）

（代表理事　小松忠信（こまつただのぶ））

所在地　　大仙市

大曲の花火協同組合は、「大曲の花火」中興の祖、佐藤勲氏らが発起人となり、昭和57年に設立された。組合員の相互扶助の精神に基づき、煙火の共同受注や原材料の共同購買等を通じて、技術・品質の向上と地域経済の発展を目的に活動を展開してきた。

日本最高峰の「全国花火競技大会」の地元ホストとして高い技術水準を維持するにとどまらず、全国から集う出品業者全体の技術研鑽と意欲の底上げにも大きく貢献している。さらに、海外での打ち上げ事業も手掛けるなど、日本が誇る伝統文化の魅力を世界へ発信している。

夏の競技大会で培った圧倒的な集客力とブランド力を礎に、現在では春や秋にも「大曲の花火」を開催するまでに発展。年間を通して多くの観覧者を呼び込み、宿泊・交通等をはじめ県内全域に多大な経済波及効果をもたらすとともに、「花火のまち」としての文化を次世代へ継承し、地域産業と文化の振興に大きく貢献している。